

## 第37回教育研究評議会議事録

I 日 時 平成19年1月18日(木) 14時00分～16時10分

II 会 場 5階大会議室

III 出席者 議 長 岩崎学長

評 議 員 工藤、瀧田、泉、腰塚、吉武、山口、谷川、高橋、波多野、江口、  
水林、熊谷、井上、高松、中山(伸)、山田、林、海老原、中山(凱)、  
野村、西川、石井、植松、板野、宇川、太田、岡本、辻中、長澤、  
深水、守屋、KAISER

IV 配付資料

第36回教育研究評議会議事録(案)	[審議資料1]
中期目標・中期計画の変更手続きについて	[審議資料2]
『筑波大学グラデュエイト・キャリア・プラン(Tsukuba Graduate Career Plan)』(仮称)ー大学院教育の実質化に向けた取組みー	[審議資料3]
筑波大学における研究活動の不正行為への対応について(案)	[審議資料4]
新たな教員組織への移行に伴う人事制度に関する基本指針(案)	[審議資料5]
平成19年4月1日付副学長・理事等就任予定者と業務分担について	[報告資料1]
人間総合科学研究科副研究科長の選考について	[報告資料2]
社団法人国立大学協会臨時学長等懇談会次第	[報告資料3]
平成19年度筑波大学法人予算予定額の概要(内示ベース)	[報告資料4-1]
平成19年度文部科学省予算主要事項	[報告資料4-2]
平成18年度補正予算について	[報告資料5]
平成19年度特別研究員申請・内定者数一覧	[報告資料6]
競争的研究資金一覧(国・政府系関係機関)	[報告資料7]
大学会館改修予定図	[報告資料8]
筑波大学アカデミック・ハラスメント防止講習会の実施について	[報告資料9]
平成18年度教職員対象の健康管理講演会の実施について	[報告資料10]

V 議事

[審 議]

1 第36回教育研究評議会議事録の確認について

第36回教育研究評議会議事録(案)は原案どおり承認された。

2 中期目標・中期計画の変更手続きについて

吉武理事から、審議資料2に基づき、学群改組及び概算要求で研究科の改組が認められたこと、及び学校教育法の一部改正に伴う国立大学法人法施行規則等の改正により、附属学校の名称が変更されることに伴う中期目標・中期計画変更手続きの概要について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

### 3 筑波大学グラデュエイト・キャリア・プランについて

工藤理事から、審議資料3に基づき、大学院教育の実質化に向けた本学の方策を「筑波大学グラデュエイト・キャリア・プラン」(Tsukuba Graduate Career Plan)と称し、包括的な方策として取扱い、検討を進めていきたい旨及び現在検討中の各方策の概要について経過説明があり、審議の結果、本件の検討を進めていくことが承認された。

### 4 筑波大学における研究活動の不正行為への対応について

瀧田理事から、審議資料4に基づき、科学技術・学術審議会の特別委員会で取りまとめられたガイドラインを踏まえた、本学における研究活動の不正行為への対応の概要及び関係規程案等について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

次いで、同理事から、新たに設置する研究公正委員会に本評議会から推薦する2名の委員について、波多野人文社会科学部研究科長及び水林数理物質科学研究科長を推薦したい旨の提案があり、審議の結果、承認された。

関連して、岩崎学長から、研究者及び研究活動の不正行為による社会的信用の低下防止には、学内に研究者行動規範等を浸透させることにより、日常の研究活動における不正行為を防ぐことがポイントであり、各部局において本件の趣旨を十分に周知願いたい旨の要請があった。

### 5 新たな教員組織への移行に伴う人事制度に関する基本指針について

腰塚理事から、審議資料5に基づき、学校教育法の一部改正を受け、4月1日から移行する新たな教員組織の概要及び併せて導入する大学教員の職務の級の弾力化並びにテニユア・トラック制の概要について説明があり、原案どおり承認された。

意見交換の過程で、林第二学群長から、テニユア獲得に係る審査基準の明確化について確認があり、吉武理事から、規程及び部局細則により本学として毅然としたルールを整備しておく必要がある旨の発言があった。

## [報告]

### 1 平成19年度副学長・理事等就任予定者と業務分担について

岩崎学長から、報告資料1に基づき、4月1日付副学長・理事等の就任予定者と業務分担について説明があった。

### 2 人間総合科学研究科副研究科長の選考について

岩崎学長から、報告資料2に基づき、人間総合科学研究科長の内申を受け、前任者の退職に伴う同研究科副研究科長の選考を行った旨の報告があった。

### 3 国立大学協会臨時学長等懇談会について

岩崎学長から、報告資料3に基づき、12月25日(月)に開催された同懇談会の議事の概要について報告があり、平成19年度の運営費交付金が対前年度比1.4%の減額となること、授業料標準額は中期目標期間中は据え置きとすることとなったこと、及び定員超過の抑制問題等について文部科学省より説明があり、意見交換が行われた旨報告があった。

特に、定員超過の抑制問題については、平成20年度から、運営費交付金に定員超過を抑制する仕組みが盛り込まれる予定であることを受け、定員の110%超とならない水準に抑制するよう、評議員に対して要請があった。

次いで、泉理事から、同懇談会における、教育基本法の改正、教育再生会議及びディグリー・ミルのチェック等に関する文部科学省の説明について補足説明があった。

4 平成19年度予算概要について

泉理事から、報告資料4-1及び4-2に基づき、本学の平成19年度予算予定額の概要並びに平成19年度文部科学省予算の主要事項について、高等教育関連及び科学技術・学術分野を中心に報告があった。

関連して、岩崎学長から、研究科、学群及びセンターに対して、平成19年度で終了する特別教育研究経費事業があるため、平成20年度概算要求において同経費の確保に特に積極的に取り組む必要があるとの発言があった。

5 平成18年度筑波大学補正予算の編成について

泉理事から、報告資料5に基づき、本学の平成18年度補正予算の概要及びその基本的な考え方等について報告があった。

6 平成19年度日本学術振興会特別研究員の採用内定について

瀧田理事から、報告資料6に基づき、今年度の同研究員の申請及び内定等の状況について、平成15～18年度の状況と比較のうえ報告があった。

7 競争的研究資金一覧について

瀧田理事から、報告資料7に基づき、国及び政府系関係機関の競争的研究資金一覧の作成及び活用について報告があった。

なお、当該資料については、採択者リストとリンクさせるなど、情報量を増やし有効な資料としていきたい旨の付言があった。

8 大学会館エリアの整備について

吉武理事から、報告資料8に基づき、総合交流会館を含む大学会館エリア全体の整備計画の概要について報告があった。

9 筑波大学アカデミック・ハラスメント防止講習会の実施について

腰塚理事から、報告資料9に基づき、同講習会の実施概要についての報告及び教職員に対する参加要請があった。

10 平成18年度教職員対象の健康管理講演会の実施について

腰塚理事から、報告資料10に基づき、同講演会の実施概要についての報告及び教職員に対する参加要請があった。

次回日程 2月15日(木) 14:00～ 5階大会議室

以上